

**公益財団法人 野村財団**  
**第13期 事業報告書**

2022年4月 1日から

2023年3月31日まで

## I. 概況

当財団は、社会科学分野の学術研究・教育活動に対する助成、外国人留学生に対する奨学金の給付、世界経済に関する研究・研究会議の開催・研究成果の刊行、芸術文化の国際交流活動に対する助成及び若手芸術家の育成活動に対する助成を行うことなどにより、我が国の学術研究、世界経済及び芸術文化の発展に寄与し、国際的な人材の育成と国際相互理解の促進に資することを事業目的としています。

当年度は、第13期事業計画に従い、以下のように事業を行いました。

社会科学助成事業については、研究プロジェクト、日本の研究者の海外派遣、奨学研究員、客員研究員及び研究設備に関する助成を実施しました。

外国人留学生奨学事業については、日本の大学の大学院に在学し、社会科学又は人文科学の修学を目的とする外国人留学生に対する奨学金の給付を行いました。

世界経済調査研究事業については、世界経済の動向に関する研究会議及びアジア資本市場研究会議を東京で開催し、その研究成果を財団ホームページで公表しました。中国での開催予定の世界の資本市場の最新動向に関する研究会議については、感染症の影響により開催を中止といたしました。

芸術文化助成事業については、美術部門および音楽部門の公募助成の他、新人美術家顕彰事業（野村美術賞）に対する助成、敦煌研究院研究者の受入事業に対する助成を行いました。

財務面では、基本財産運用益は2億7,540万円で、基本財産の運用利回りは年率2.63%でした。事業費2億9,734万円、管理費1,683万円を合わせた経常費用は3億1,417万円で、当期経常増減額と当期一般正味財産増減額はともにマイナス3,774万円でした。基本財産期末残高は104億6,206万円、指定正味財産期末残高は101億6,513万円、一般正味財産期末残高は7億649万円でした。

## II. 各事業の実施状況

### 1. 社会科学助成事業

#### (1) 研究助成：研究プロジェクトに対する助成

助成件数：28件（うち金融・証券のフロンティアを拓く研究助成 5件、女性が輝く社会の実現をテーマにした研究助成 2件）

助成額：3,568万円（うち金融・証券のフロンティアを拓く研究助成 1,151万円、女性が輝く社会の実現をテーマにした研究助成593万円）

#### (2) 国際交流助成：日本の研究者の海外派遣及び海外在住研究者の日本への招聘に対する助成

助成件数：6件（①派遣3件、②招聘3件）

助成額：483万円（①派遣250万円、②招聘233万円）

#### (3) 講演会等助成：講演会・研究会議等に対する助成

助成件数：1件

助成額：100万円

#### (4) 奨学研究員助成：東京大学大学院法学政治学研究科及び同経済学研究科附属日本経済国際共同研究センターの奨学研究員制度に対する助成

助成件数：2件

助成額：350万円

#### (5) 客員研究員助成：東京大学大学院経済学研究科に対する助成

助成件数：1件

助成額：50万円

- (6) 研究設備助成：図書、設備備品、特別講義の開設準備等の経費に関する助成  
助成件数：2件  
助成額：3,100万円  
社会科学助成総額：7,651万円

## 2. 外国人留学生奨学事業

日本の大学の大学院に在学し、社会科学または人文科学の修学を目的とする外国人留学生のうち、留学生活上、経済的援助を必要とすると認められ、学業成績が優秀な者に対し2021年度生、2022年度生について一人月額20万円の奨学金の給付を行いました。

対象者：20名（2021年度生10名、2022年度生10名）

外国人留学生奨学助成総額：4,800万円

## 3. 世界経済調査研究事業

- (1) 世界経済の動向に関する研究会議の開催  
テーマ「ウクライナ危機の世界経済への影響」（マクロ経済会議、2022年10月27日、東京）
- (2) 世界の資本市場の最新動向に関する研究会議の開催  
会議開催中止。
- (3) アジアの資本市場の最新動向に関する研究会議  
テーマ「アジアにおける持続的かつ金融包摂的な成長のための資本市場の発展」（アジア資本市場ラウンドテーブル、2023年2月2日、東京）
- (4) 出版  
Nomura Journal of Asian Capital Markets の刊行（2022年8月31日及び2023年2月28日）  
国会図書館、全国の大学図書館などに寄贈。
- (5) ホームページでの調査研究成果等の公表  
刊行物（Nomura Journal of Asian Capital Markets）のコンテンツ

## 4. 芸術文化助成事業

- (1) 美術公募助成  
若手芸術家の育成を目的とする活動及び芸術文化の国際交流を目的とする活動等に対する助成。  
助成件数：61件（①団体31件、②個人30件）  
助成額：2,400万円
- (2) 音楽公募助成  
若手芸術家の育成を目的とする活動及び芸術文化の国際交流を目的とする活動等に対する助成。  
助成件数：70件（①団体35件、②個人35件）  
助成額：2,553万円
- (3) 新人美術家顕彰事業（野村美術賞）に対する助成  
東京藝術大学大学院美術研究科博士課程の大学院生を対象として、特に優秀な作品を選定して買い上げ同大学美術館で保存する顕彰事業「野村美術賞」に対する助成  
助成額：300万円
- (4) 敦煌研究院研究者受入事業に対する助成  
助成額：50万円  
芸術文化助成総額：5,303万円

### Ⅲ. 評議員会・理事会・選考委員会開催状況

#### 評議員会

開催日	会議名	議案	結果
2022年 6月 9日	第36回臨時評議員会	・評議員、理事及び監事の選任 ・議事録署名人選定	承認可決
2022年 6月24日	第37回定時評議員会 (決議・報告の省略)	・2021年度決算書類 ・2021年度事業報告(報告事項)	承認可決
2023年 3月 9日	第38回臨時評議員会	・外国人留学生奨学準備資金の積み増し ・金融・資本市場研究助成準備資金の設定 ・議事録署名人選定	承認可決
2023年 3月23日	第39回臨時評議員会 (決議の省略)	・定款改正	承認可決

(注) 決議及び報告の省略については、評議員全員から書面による同意の意思表示を得たため、評議員会の決議ないしは報告があったものと見なしました。

#### 理事会

開催日	会議名	議案	結果
2022年 5月20日	第62回臨時理事会 (決議の省略)	・第36回(臨時)評議員会招集	承認可決
2022年 6月 9日	第63回定時理事会	・2021年度事業報告 ・2021年度決算書類 ・顧問・選考委員の選任 ・財団事務局長の任命 ・決議及び報告の省略の方法による評議員会招集 ・代表理事の職務執行状況(報告事項)	承認可決
2022年 7月 1日	第64回臨時理事会 (決議の省略)	・代表理事兼専務理事の選定	承認可決
2023年 2月17日	第65回臨時理事会 (決議の省略)	・第38回臨時評議員会招集	承認可決
2023年 3月 9日	第66回定時理事会	・2023年度事業計画 ・2023年度収支予算 ・外国人留学生奨学準備資金の積み増し ・外国人留学生奨学準備資金取扱規程の改正 ・金融・資本市場研究助成準備資金の設定 ・金融・資本市場研究助成準備資金取扱規程の制定 ・財団事務所の移転 ・第39回臨時評議員会招集 ・代表理事の職務執行状況(報告事項)	承認可決

(注) 決議の省略については、理事全員から書面による同意の意思表示が得られ、監事全員に書面により異議がないことを確認したため、理事会の決議があったものと見なしました。

選考委員会社会科学助成部会

開催日	会議名	議案	結果
2022年 7月 1日	部会長選定 (決議の省略)	・選考委員会社会科学助成部会の部会長選定	承認可決
2022年 8月30日	2022年度下期選考委員会	・2022年度下期研究助成、国際交流助成、講演会等助成、女性が輝く社会の実現をテーマにした研究助成等の助成の予算配分と助成額の策定 ・議事録署名人の選定	承認可決
2023年 1月27日	2023年度上期選考委員会	・2023年度研究助成、2023年度上期国際交流助成、講演会等助成の予算配分と助成額の策定 ・2019年度、2020年度、2021年度採択の金融・証券のフロンティアを拓く研究助成の継続 ・2023年度非公募助成の助成額の策定 ・議事録署名人の選定	承認可決

選考委員会外国人留学生奨学部会

開催日	会議名	議案	結果
2022年 7月 1日	部会長選定 (決議の省略)	・選考委員会外国人留学生奨学部会の部会長選定	承認可決
2022年12月16日	2023年度選考委員会	・2023年度外国人奨学生の選考 ・議事録署名人の選定	承認可決

選考委員会芸術文化助成部会

開催日	会議名	議案	結果
2022年 7月 1日	部会長選定 (決議の省略)	・選考委員会芸術文化助成部会の部会長選定	承認可決
2022年 8月 3日	2022年度下期選考委員会	・2022年度下期の芸術文化助成案件の選考 ・議事録署名人の選定	承認可決
2023年 1月25日	2023年度上期選考委員会	・2023年度上期の芸術文化助成案件の選考 ・議事録署名人の選定	承認可決

以上